

病院の特色

大腸肛門領域を専門とした消化器専門病院です。
大きく分けて3つの柱で診療を行っています。

- ①肛門疾患
- ②大腸内視鏡
- ③炎症性腸疾患（IBD）

薬剤部の業務データ

2020年度の実績

外来処方箋枚数 2158枚／月
薬剤管理指導件数 196件／月
抗がん剤ミキシング件数 22件／月
プレアボイド報告件数 20件／年
医薬品安全情報報告件数 2件／年
院外処方箋発行率 1.9%

薬剤部の紹介



薬剤部のデータ

薬剤師数 5名、調剤補助 1名
有給休暇取得日数 約15日／年／全員
パワーチャージ休暇:5日間連続した休暇
を年1回取得できる
休日出勤なし（年末年始・GWはあり）
当直なし



8:50 ミーティング

毎朝10分間全員でミーティングを行い、伝達事項や業務シフト確認、勉強会の案内、DI報告などを行います。



9:00 外来調剤・注射調剤

外来調剤もほぼすべて院内で行っています。
電子カルテを活用して、投薬歴、アレルギー歴、禁忌などを十分に確認し、安全で正確な調剤を心がけています。
投薬窓口では一人ひとり丁寧に服薬指導を行います。





10:30 ミキシング

抗がん剤調製はクラスIIの安全キャビネットを使用し、すべて薬剤部で行っています。投与量や投与間隔、血液データ、副作用の発現状況などを確認し、抗がん剤の減量や適切な支持療法などの提案を行います。



11:00 持参薬確認

入院時に持参薬を鑑別し持参薬服薬計画書を作成します。代替薬や休薬すべき薬剤の選定など医師へ薬物療法の提案を行います。



12:00 ランチタイム

昨年増築した建屋の3階へ移動した職員食堂で、ビュッフェ形式で頂きます。様々な部署のスタッフが集うため、絶好のコミュニケーションスペースとなっています。1食なんと200円。ドリンクバーも充実です。



12:30 回診・チーム会議

感染制御チーム、がん化学療法チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームなど、定期的 to 実施されるカンファレンスや院内ラウンドに参加し、薬剤師の専門的立場からチームに提案を行います。





14:30 服薬指導

患者さんへの服薬指導を通じて、副作用の早期発見や医師への処方提案などを積極的に行っています。

2012年から病棟薬剤業務実施加算を算定しています。



17:00 症例検討会

服薬指導のレベルアップを図る目的で、あらかじめピックアップした症例について薬剤師全員で検討会を実施します。

指導内容や記録の様式について意見をかわし、よりより薬物療法を目指します。



17:30~19:10 帰宅

『働き方改革』の実践に向け、薬剤部内で協力しながら勤務時間の短縮に努めています。



おまけ 忘年会・職員旅行

年末恒例の忘年会では新人職員の出し物や名誉院長のマジックショーで盛り上がります。

職員旅行もスタッフ間の親睦を深めるには絶好の機会となっています。

